

## かくしきん

水戸線にはさまれた三角地帯にあって、水戸西線によって茨城県の中心都市水戸市と、水戸南線によって濁沼・大貫海岸の観光地に通じている。(熊沢 勇)

**かくしきん 学資金** 学資金は高等課程看護婦科・普通課程運転科・工作一科・准看護婦科・初等課程整備科・軌道科・建築科の生徒に支給されることになっている。これらの生徒は職員として採用されておられないため、賃金の支払を受けないので、学習期間中の食費等の必要経費を学資金として支給している。(大原五郎)

**かくだせん 角田線** 東北本線船岡駅を起点として、宮城県角田市を経て常磐線相馬駅に至る路線およびこれに付帯する路線からなる国鉄自動車路線であって、所管する仙台自動車営業所および角田自動車営業所は、それぞれ仙台市および角田市にある。

### 1 区間・キロ程および沿革

#### 角田本線

天神町～相馬 31.4km 昭10・10・17開業

船岡～天神町 11.0 昭12・9・1

#### 仙台南線

江尻～槻木 7.6 昭13・8・1

槻木～仙台 25.1 昭27・5・25

#### 白石線

天神町～白石 18.9 昭10・10・17

#### 梁川線

丸森～梁川町 20.9 昭30・9・2

#### 旗巻線

磐城大内～黒木 15.0 昭32・12・27

本路線は昭和37・10・1白中線から分離した。

### 2 営業範囲

角田本線および白石線は旅客・手小荷物および貨物の、その他は旅客および手小荷物の取扱いをしている。

### 3 使命

東北本線と常磐線の短絡およびこの地方の産業文化の発展助成を使命としている。

### 4 特長

沿線は阿武隈川の流域に当たり、古くから開けた土地で名勝旧跡も多い。また相馬の野馬追祭は有名である。(佐野 実)

**かくにんしゃ 確認車** 保守作業の終了および線路等の確認のため、保守作業の有無にかかわらず初列車運転の前に、毎日、上下線別、駅間別に運転する保守用車(モーターカー)を確認車という。停車場間で道床バラストの散布を行なわない\*工事用車は、確認車として使用してもよいことになっている。新幹線においては、\*保守作業列車間合を指定し、この間合において、保守作業のできる作業時間帯を毎日設定し、この時間帯に、集中的に主として機械力を使用して保守作業を行なうこと、停車場間の距離が長いので、1停車場間で数多くの作業が行なわれること、停車場間に保守用車の\*横取基地を設けてあること、あるいは列車は高速度で運転されることなどから、確認車運転区間の両端停車場において、最も早い初列車が到着し、出発し、または通過する10分前までに、その区間の前方停車場

に到着することにより、その区間の保守作業の終了と線路等に支障物のなかったことを確認し、列車運転の安全を確保している。確認車運転後は、いかなる作業も行なわれないことになっている。(早川武士)

**かしません 鹿島線** 石川県七尾市から同県穴水町に至る国鉄自動車路線であって、所管する穴水自動車営業所は、穴水町にある。

### 1 区間・キロ程および沿革

七尾～穴水 34.2km

昭26・7・1開業

田鶴浜駅前～能登白浜 2・4

昭34・11・1

本路線は昭和38・1・10奥能登

線から分離した。

### 2 営業範囲

旅客のみの取扱いをしている。

### 3 使命

七尾線の補完およびこの地域の開発を使命としている。

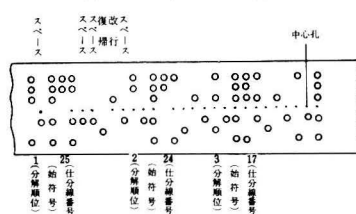
### 4 特長

波静かな七尾湾に沿って走る路線で、田鶴浜をはじめ景勝の地が多く、和倉温泉への入口、和倉がある。(佐野 実)

**かしゃじどうしわけそうち 貨車自動仕分装置** (英) automatic classification device 貨車操車場では、到着した貨物列車を分解して、行先方面別に新しい貨物列車を組成する。この新しい貨物列車を組成する場合、分解作業と組成作業の二つの作業が行なわれる。分解作業とは操車場のハンプ頂上から各仕分線へ貨車を転走し、行先方面別に各貨車を分類する作業である。

分解作業を行なう場合、ハンプ頂上と各仕分線の間にある転てつ器群を扱者の操作によらず、貨車が転てつ器部の軌道回路に進入したことにより、1段前方の転てつ器を、その貨車の行先方面別に従って自動的に順次転かかする装置を貨車自動仕分装置と呼んでいる。

図-1 さん孔テープの例



この装置は、テレタイプ・複写電信などによって隣接する操車場または駅から送られてくる列車組成通報を受けて分解表を作成し、これに基づいて、けん(鍵)盤さん(穿)孔機により図-1のような、さん孔テープを作成してテープ読取機にかけると、パンチされた穴を通して電気回路を構成し、継電器を動作させて各貨車に該当する仕分線番号を選定する。継電器の動作には多少時間を要するので、テープの1ステップの進行速度は500mm/sに調整してある。仕分線番号の選定は、最初第4分解車まで行なわれ、制御盤の**分解番線表示燈**A・B・C・D列がつかまると、テープ読取機は第5分解車に対する始符号を選別した位置で停止する。

第1段目の転てつ器は、分解番線表示燈のA列が点燈すると、その番線方向に転かかする。分解作業が開始され、第1分解車